

**平成21年度  
学校関係者評価表**

平成22年3月

宮崎県立富島高等学校(定時制)

## 平成 21 年度 宮崎県立富島高等学校(定時制) 自己評価および学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている	3：ほぼ達成できている	2：あまり達成できていない	1：達成できていない
------	-------------	-------------	---------------	------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
教 務 部	①授業への出席率や学習意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単位修得についての説明を頻繁に行い、自己の修得単位や成績についての意識を高めさせる。</li> <li>○毎月1回定例の職員研修会を開催し、生徒の出席や生活状況の報告をうけて、問題のある生徒の指導方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校ゼロ、長期欠席者の激減</li> <li>○退学者の減少(18 年度 25 名→19 年度 10 名→20 年度 10 名→21 年度 7 名)</li> <li>○授業出席率の向上(18 年度 86.7 %→19 年度 87.2 %→20 年度 89.3 %→21 年度 89.5 %)。</li> <li>□単位修得説明を徹底し、履修の自己管理を図る。</li> <li>□SHR を1回5分の特別行事としてカウントし、9回の遅刻を1時間の欠課として指導する。</li> </ul>	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年々、学校全体が良い方向に改善されており、とても良いと思われる。</li> <li>②ほとんどの生徒は充実した学校生活を送っているが、学習環境の一層の改善により、今以上により明るく楽しく学校生活を送れるようにできると思われる。</li> </ul>
	②基礎的・基本的な学力の定着をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○簿記は、1年次でTT(ティームティーチング)、2年次で習熟度別学習を行う。</li> <li>○基礎力養成週間を月1回計画し、国数英社の基礎学習に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□基礎力養成週間については教科担任が直接指導できるようローテーションを組んで行う。内容も精選し、就職試験問題など実践的なものも取り入れ基礎学力向上に力を入れる。</li> </ul>	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>①必要に応じ小中学校での学習事項から毎日10分でも学習させてはどうか。</li> <li>②就職試験問題対策とともに挨拶や礼儀の指導もお願いしたい。</li> </ul>
	③保護者・地域への情報発信につとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者あてに学校行事の案内を出す。</li> <li>○ホームページの定時制コーナーを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間3回のPTA役員会を開催できた。</li> <li>○初めて三者面談月間を設け、学校へ来れない保護者とのコミュニケーションを図ることができた。ただ参加率には学年差がみられた。</li> <li>○ホームページのリニューアルを行った。</li> <li>○情報誌「富風定時」を3号発行した。</li> <li>□あらゆる手段を使った保護者・地域への情報発信</li> <li>□PTA総会を茶話会形式にするなど、PTA総会授業参観週間の参加率を高めるための工夫</li> <li>◆学級通信などよりこまめな情報の発信</li> <li>◆PTA役員体制の早期決定</li> <li>◆三者面談月間の年度初め設定と参加率向上策</li> </ul>	3	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保護者への情報は、小中学校のように毎週のように発行してもらえると有り難い。</li> <li>②PTA総会以外にも全員参加のPTA行事を設定して、保護者の参加率向上を促してはどうか。</li> </ul>
	④教科代表者との連携をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業時数の確保につとめ、授業参観週間などを設定して教材作成の工夫や指導法の改善をはかる。</li> <li>○検定合格や資格取得を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○検定意欲が高まり合格者数が大幅に増加した(19 年度 19 名→20 年度 31 名→21 年度 60 名)。</li> <li>◆公欠の内規について、進路指導部と協議のうえ見直しを行う。</li> <li>◆聴講制度についての具体案を作る。</li> </ul>	3	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前に比べると検定資格の取得者が拡大増加し、学校全体が向上していると感じる。</li> </ul>

平成 21 年度 宮崎県立富島高等学校(定時制) 自己評価および学校関係者評価

評価基準	4 : 十分達成できている	3 : ほぼ達成できている	2 : あまり達成できていない	1 : 達成できていない
------	---------------	---------------	-----------------	--------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
生徒指導部	①基本的な生活習慣の確立を図り充実した学校生活を送る生徒を育成する。	○SHR前に校門での立ち番や校内外巡回指導を行い、授業やHRなどへの参加を促す。	○各行事ごとに礼法・マナー指導を継続することで徐々に改善方向にある。 ○文化祭・定通体育大会など学校行事への自主的な活動と参加率の向上。	3	3	3	①生徒は本来は素直で良い子達である。 ②登校時の全職員による校門指導など、生徒との良好な関係が図られている。 ③家庭の環境によって、生徒は様々な生活条件下での学校生活を送っている。生徒自身の生徒指導もさることながら、学校と家庭・保護者がより一層緊密な連携をとることで、生徒の気持ちや様子をより深く理解することができると思われる。
	②ルールを遵守する態度の確立を図り、分別ある行動ができる良識ある生徒を育成する。	○生徒指導部の確認事項を配布し、説明を行うことによって、ルールを認識させる。 ○生徒の情報を共有し、全職員で連携を図りながら問題行動などに対応する。	○問題行動数の減少(19 年 18 名→ 20 年 6 名→ 21 年 5 名) ○定通大会後も活動が継続して行われ、部活動の活性化が見られる。	3	3	3	
	③生徒の豊かな心を育成するために、HR活動・生徒会活動・部活動などを通して自主的に活動する態度を身につけさせる。	○歓迎遠足、生徒総会、文化祭、卒業生を送る会等生徒会が中心となって自主的に運営する。	□服装、スリッパ履き登校の禁止など、見逃すことなく、その場で、根気強く繰り返し指導する □校門での立ち番指導や巡回指導(学校周辺の巡回やチリ拾いを通して住民との連携を図る)を継続して行う。	3	4	4	
	④他人に対する思いやりと優しさを持ち、お互いの人格を尊重しあえる生徒を育成する。	○毎学期学校独自のテーマを設定し、人権啓発の講演会などにより生徒の意識の高揚に務める。 ○健康教室などを通して、生命の重要性や大切さについて考えさせる。また、自己肯定感を養い、一人一人がかかけがえない存在であることに気づかせる。 ○クラスマッチや文化祭などを通して協調性を身につけさせ、他人に対する思いやりや優しさを身につけさせる。	◆職員とのため口会話をなくし、TPOに応じた言葉遣いのできる指導を徹底する。 ◆学校生活に相応しい服装・容儀を理解させ、 ◆礼法の常時指導による職員室入室時のマナー指導の徹底。	3	4	4	

平成 21 年度 宮崎県立富島高等学校(定時制) 自己評価および学校関係者評価

評価基準	4 : 十分達成できている	3 : ほぼ達成できている	2 : あまり達成できていない	1 : 達成できていない
------	---------------	---------------	-----------------	--------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
進路指導部	①社会に適応できる生徒の育成を図る。	○日常の授業及び生活の中で「忍耐」「誠実」「勤勉」の態度を身につけさせる ○職場での生徒の勤務状況を把握するとともに、雇用主に本校生徒の雇用拡大をお願いする。	○進路体験発表会を生徒会中心に運営することで生徒の主体性が高まった。次年度以降も同様の形で実施したい。	3	3	3	1年次からハローワーク訪問や職場訪問を行うと、アルバイトも含めて就労に関する意識を高める良い機会となるのではないか。
	②教科と連携した進路指導により進路意識を高め、実務代替制度の推進を図る。	○職業講座を開催し、働く意義や日常の心構えを学ばせる。 ○毎週求人情報を校内に掲示し、生徒の条件にあった職場情報を配布する。 ○全職員による職場訪問を実施し、定着指導と職場開拓を行う。	○計画的継続的な進路指導(統一LHR)の充実 ○現職のハローワーク職員や本校職員による講話は画期的だった。 ○全職員協力による統一LHRの計画的実施。 ○職員研修での面接指導に関する職員の共通理解獲得と統一指導の実現。 ◆生徒ごとに異なる指導内容や学年単位で行う統一LHR等、指導方法の検討	4	4	4	
	③進学指導を推進する。	○進学については、生徒に必要な情報を収集し、個別指導を行う。	○初めての小論文指導体制など、全職員による進学指導体制の端緒を作ることができた ◆教務との協議による公欠規定の設定 ◆教科学力とともに読解力や文章力など、進学に必要な基礎学力の定着指導体制の確立	4	4	4	進学就職とも、職員による情報収集のお陰でいろんな事を知ることができ、保護者としてはとても助かった。
	④就職指導を推進する。	○就職については、職場訪問も含めて全職員で指導にあたる。	○求人票による就職決定者5名を確定し、厳しい状況の中、関係機関との連携をとりながら昨年以上の成果を収めることができた ○外部関係機関との連携強化もあり、昨年以上の特別支援体制を作ることができた。 □年度当初にハローワークへ登録しアルバイトから就職まで自立的に取り組める体制の確立	4	4	4	

平成 21 年度 宮崎県立富島高等学校(定時制)自己評価および学校関係者評価

評価基準	4 : 十分達成できている	3 : ほぼ達成できている	2 : あまり達成できていない	1 : 達成できていない
------	---------------	---------------	-----------------	--------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
保健部	自分の発育・発達や健康状態に関心をもち、自主的に健康生活を実践する習慣や態度を培う。	①健康診断の受診徹底を図る。 ②健康生活習慣の確立を推進する。	○性教育講座、薬物乱用防止講座の実施。 ○「保健だより」の発行により“責任感・思いやり・羞恥心”の大切さを強調した ◆定期健康診断受診の徹底 ◆保健室利用時のマナーアップをはかる ◆性教育についての個別指導の徹底 ◆当たり前があたりまえにできる生徒の育成をはかる	3	3	4	①「保健だより」はとても分かりやすい内容で為になる。今後とも是非継続してもらいたい。 ②性教育はとても大切である。男女ともに今以上の充実を望みたい ③定期健康診断の充実については、家庭への連絡も含めて周知徹底をお願いしたい。

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
事務部	授業料の期限内納入率の向上を図る。	①職員会議で定期的に未納状況報告の機会を設ける。 ②学校全体で未納者対策に取り組むため、担任との連携を深める。	□滞納 2 ヶ月時点での授業料減免手続き督促 ◆22年度の授業料無償化により、PTA会費等学校納付金の徴収事務が混乱しないよう、適切な処理をする必要がある	3	3	3	保護者の来校機会を増やすためにも、学校納付金については子どもではなく保護者が直接持参するようにはどうか。

平成 21 年度 宮崎県立富島高等学校(定時制) 自己評価および学校関係者評価

評価基準	4 : 十分達成できている	3 : ほぼ達成できている	2 : あまり達成できていない	1 : 達成できていない
------	---------------	---------------	-----------------	--------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○、改善策□、課題◆	前期	後期	評価	コメント
学 年 会	①1年 基本的な学校生活を構築させる。本人・保護者とよく対話をし、信頼関係を築く。	○学校生活が確立していない生徒との2者面談を随時実施する。 ○保護者に対して毎月、欠課時数表や学級通信などを配布する。 ○3者面談を実施し、保護者との連携を図る。 ○社会に適応できる生徒の育成を図る	○ある程度の生活習慣は全体として身に付きはじめており、授業態度もよくなっている。 ◆落ち着いた学校生活、各種資格取得への意欲向上など2年生としての自覚と自律の促進。 ◆資格取得へのチャレンジ ◆公の意識をどのように身に付けさせるか。	3	3	4	文化祭の様子などを見ていると思いやりのあるクラスだと感じられた。
	②2年 クラスの一人としての帰属意識を高めさせる。	○家庭・クラス・職場の一員としての自分をみつめさせる。 ○授業への出席率向上を図る ○基本的な生活習慣の確立を図る ○社会に適応できる生徒の育成を図る	□出席率向上のための指導 欠席、遅刻、早退の連絡・手続きを当たり前できるようにさせる。 ◆基本的な生活習慣の確立 ◆マナーアップの意識向上	3	3	3	
	③3年 よりよい人間関係を形成させ、社会に適応できる人材を育てる。	○集団生活への積極的な参加を促し、向上心ある集団の形成者となるよう援助する。 ○資格取得や検定合格への挑戦を促し、将来の選択や決定に対する興味・関心を高める。 ○授業への出席率向上を図る ○基本的な生活習慣の確立を図る ○社会に適応できる生徒の育成を図る	○高度の資格取得への挑戦者が増え、将来の選択に対する興味・関心も高まった。 □進路確立のための資格取得への挑戦を促す。 □統一LHR等を通して卒業後の進路確立へ向けての意識を高める。 □進路実現に向けてハローワークの積極的な利用や情報収集に努めるよう指導する。	3	3	3	
	④4年 生徒ひとりひとりの進路実現を目指し、社会に貢献できる人材を育成する。	○コミュニケーション能力を高める。 ○授業への出席率向上を図る ○基本的な生活習慣の確立を図る ○社会に適応できる生徒の育成を図る	○厳しい情勢下、就労支援を含めてほぼ全員の進路決定の見通しが立った。 □各機関と連携した卒業後の支援体制の確立 □夏休みを利用した就職定着指導と企業訪問の実施	3	4	4	先生たちのお陰で、生徒たちはここまでよく頑張れたと感心している。